

## 平成29年10月定例教育委員会会議録

### 1 日 時

平成29年10月26日（木）午後3時00分から午後4時40分まで

### 2 場 所

唐津市役所大手口別館6階会議室

### 3 出席者

#### (1) 教育長

稲葉継雄

#### (2) 教育委員

富永祐司、森田淳、坂本恭子、宮崎美和

#### (3) 事務局

教育部長 金嶽栄作、教育総務課長 栗原達也、学校教育課長 佐々木講吉、  
学校支援課長 櫻井実規子、生涯学習文化財課係長 青木和臣、東部学校給食  
センター所長 荒田良二、近代図書館長 橋爪伸子、幼稚園長 加茂律子、浜  
玉市民センター総務教育課長 内山茂昭、巖木市民センター総務教育課長 東  
島千尋、相知市民センター総務教育課長 黒木寿昭、北波多市民センター総務  
教育課長 小松章信、肥前市民センター総務教育課長 増田勉、鎮西市民セン  
ター総務教育課係長 宮本善行、呼子市民センター総務教育課長 野上安国、  
七山市民センター総務教育課長 鬼木和俊、教育総務課係長 中村勝、教育総  
務課係長 岡田和幸、教育総務課主査 古賀幹子

### 4 議 題

#### (1) 議案

議案第32号 唐津市小中学校大規模改造・改築計画の変更について

【原案どおり可決】

#### (2) 報告事項

- ① 教育長報告
- ② 各課報告事項
  - ・ 決算特別委員会の報告について
  - ・ 平成29年（秋）教育長表彰について
  - ・ 学校教育に関する諸報告について
  - ・ シャンデリアコンサートについて
  - ・ 文芸講演会について
  - ・ 子供一日司書体験について
  - ・ ブックスタート講演会について
  - ・ 共催及び後援について
- ③ その他
  - ・ 教育委員会行事予定

## 【定例会】

午後3時00分 開会を告げる。

稲葉教育長は、本日の会議録署名委員として宮崎委員を指名した。

稲葉教育長は、前回の定例会の会議録について会議に諮り、委員会はこれを承認した。

### ○教育長（稲葉継雄君）

みなさん、おそろいですか。もともと2時開催の予定でございましたけど、こちらの都合で午後3時スタートとさせていただきます。すみません。

それでは、10月の定例教育委員会を始めさせていただきます。

議案に参ります。

議案第32号唐津市小中学校大規模改造・改築計画の変更につきまして、教育総務課から、御説明をお願いいたします。

### ○教育総務課長（栗原達也君）

教育総務課です。議案第32号唐津市小中学校大規模改造・改築計画の変更についてでございます。

提案理由といたしましては、小中学校大規模改造・改築事業にあたりましては、今までの計画につきましては、合併特例債という起債の活用を予定しておりまして、合併特例債が平成32年度まで利用できるということで、平成32年度まで非常に詰めた計画となっております。

ところが、合併特例債は市の庁舎や消防分署等に使われるということになりまして、学校のほうにまで回ってこないということになりました。それで、有利な起債の合併特例債というのが利用できないということになりましたので、今回、平準化をしたいということで変更させていただいております。

また、大規模改造事業につきましては、長寿命化事業に適合できるよう、事業時期を調整します。今回、長寿命化計画を策定しようということで、その長寿命化計画にのせますと、国庫の補助が受けやすくなるとか、補助は今、限度額があるんですけれども、その限度額がなくなるというメリットがございますので、そちらの長寿命化事業のほうに適合させようということになっております。

今までは建築後35年を目処に計画しておりましたが、長寿命化計画というものが建築後40年以上経過したものを対象にするということでございますので、そういう関係上、今回、変更させていただきたいと思っておるところでございます。

2ページと3ページをご覧ください。

この表につきましては、2ページが変更後の計画でございます。3ページが変更前の計画となっております。

4ページをお願いいたします。

4ページの表は、2と3を合わせたような表となっております。変更の対比表ということとなっております。

まず、真ん中の太い線の左側が変更前です。そして、右側が変更後となっております。

縦の欄ですけれども、真ん中から上が小学校の欄です。真ん中から下が中学校の欄となっております。

小学校、中学校とも、それぞれ上のほうが校舎、下のほうが屋体、これは屋内運動場のことでございます。それぞれ校舎と屋内運動場につきましては、調査設計、大規模改造・改築というように事業ごとに表を作っております。

大規模改造というのは、リフォームということです。建て替えではなくて、躯体を残して、いわゆるリフォーム事業が大規模改造ということでございます。

下の改築というのが建て替えです。解体して建て替えるというのが改築ということになっております。

この表を見ていただきながら、各学校ごとに説明していきたいと思っております。

まず、鏡山小学校の屋内運動場の工事でございます。これにつきましては、校舎の改築工事と一体化して行う必要がありますので、事業期間の延長を行っているところでございます。屋内運動場の工事が平成31年度から32年度だったものを平成31年度から33年度までに変更しております。

次に、相知小学校及び浜崎小学校の屋内運動場の大規模改造事業ですけれども、これは長寿命化事業に適合させるため、事業期間の繰り延べを行うもので

ございます。

相知小学校の屋内運動場につきましては、実施設計が平成30年度だったものを平成33年度に、大規模改造工事が平成31年度だったものを平成34年度にしております。

浜崎小学校の屋内運動場につきましては、実施設計が平成31年度だったものを平成34年度に、大規模改造工事が平成32年度だったものを平成35年度に変更しております。

平原小学校の大規模改造事業につきましては、他校との統合を検討するために、この計画からは除外をしております。

玉島小学校の大規模改造事業についても、他校との統合を検討するため、実施時期の調整をしております。

玉島小学校の校舎につきましては、実施設計が平成32年度だったものを平成33年度に、大規模改造工事が平成33年度から平成34年度だったものを平成34年度から平成35年度に変更しております。

続きまして、佐志中学校の大規模改造事業でございます。これは、9月の補正に出したところでございますけれども、設計期間の調整のため、事業期間の延長を行うものでございます。

佐志中学校の校舎につきましては、実施設計が平成29年度だったものを平成29年度から30年度、校舎の大規模改造工事が平成30年度から31年度だったものを平成30年度から平成32年度に変更しております。

また、屋内運動場につきましては、実施設計は平成29年度だったものを平成29年度から30年度まで、大規模改造工事は平成30年度だったものを平成30年度から31年度までに変更しています。

西唐津中学校の校舎と湊中学校の校舎、第五中学校の屋内運動場及び巖木中学校の屋内運動場の大規模改造事業につきましては、事業量の調整及び長寿命化適応のために事業の時期を調整しております。

まず、西唐津中学校の校舎でございますけれども、実施設計が平成30年度だったものを平成35年度に、大規模改造工事につきましては、平成31年度から32年度であったものを平成36年度から平成37年度に、湊中学校の校

舎につきましては、実施設計が平成31年度だったものを平成34年度に、大規模改造工事が平成32年度から33年度だったものを平成35年度から平成36年度までに変更しております。

第五中学校の屋内運動場でございます。これにつきましては、実施設計が平成29年度だったものを平成38年度に、また、大規模改造工事が平成30年度だったものを平成39年度に変更しております。

巖木中学校でございますけれども、これは屋内運動場でございます。実施設計が平成31年度だったものを平成35年度に、屋内運動場の大規模改造工事が平成32年度だったものを平成36年度にしております。

最後に、西唐津中学校の屋内運動場についてでございます。これは、事業量の調整のため、事業期間の繰り延べを行っております。

西唐津中学校の屋内運動場につきましては、実施設計が平成30年度だったものを平成31年度に、大規模改造工事が平成31年度だったものを平成32年度ということで変更しているところでございます。

なお、この変更ですけれども、財政上の事情並びに新しい給食センターの進捗状況等により、また見直すところがある場合がございますけれども、そのときは、またお諮りしたいと思っております。

以上でございます。

**○教育長（稲葉継雄君）**

御説明ありがとうございました。

ただいまの説明に御質問、御意見はございませんか。

**○教育部長（金嶽栄作君）**

教育長、補足をよろしいですか。

**○教育長（稲葉継雄君）**

はい。

**○教育部長（金嶽栄作君）**

栗原課長のほうから小中学校の大規模改造・改築の件についての説明がございましたが、それと合わせて、この前も御説明しましたが、給食センターの関係で東部給食センターの食数を増やす。それから、給食センターの建設を急が

なければいけないという感じがしております。

それで、鎮西給食センターを、増食するような形に変えるのか、西部給食センターを建てるものか、事務局の中でも検討しているところでございます。来年度については、西部センターの計画を立てなければと思っているところです。

以上です。

#### ○教育長（稲葉継雄君）

今の部長の御説明を含めた上で御質問はございませんか。よろしいでしょうか。全体的に後にずらしていく形になりますね。

それから、平原小学校につきましては、今、栗原課長からありましたように、いずれ玉島と一緒にするという前提で手をつけないということであります。

ここにはありませんけど、先日、東唐津小学校に学校訪問に行ったんですが、東唐津小学校は昭和43年の建設でありますから、来年で50年になるんですね。かなり傷んでおります。海風、潮風で劣化も激しいし、トイレも非常に臭いがきついです。東唐津小学校も外町小学校との合併といいますか、統合すると大規模改造・改築はしなくていいということで、強固な意見もまだまだあるようでございますけれども、いよいよ校舎がだめになったときは覚悟してくださいということであります。

少なくとも僕の教育長在任中は今のような基本方針でいきたいと思っております。

次にいっていいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

#### ○教育長（稲葉継雄君）

それでは、次に参ります。

教育長報告です。教育長日誌（抄）をご覧ください。

今回も議会が長引いて、いろいろあったものですから、報告すべき内容は余り多くはありません。

10月10日、平成29年度第1回佐賀県ICT利活用教育推進協議会が県庁で行われました。メンバーは、県教育長・副教育長・情報統括監などが、ずらっと来ておまして、市町の教育長に来いという招集令状だったものですか

ら、僕は行ったんですね。今年度第1回でもあることから行ったんですが、行ってみましたら、教育長は僕を含めて3人しか来ておりませんでした。他は全部実務の方です。これは実務の方でないと話が進まない段階に来ているんですね。

というのは、佐賀県は、ここに書いてありますように、ICTに関しましては全国のトップレベルであります。もう機器を揃える段階は終わった。後は機種をどうするとか、使い方をどうするとか、安全をどう保つとか、そういうレベルの話ですから、これはもう頭の古い教育長が行っても話になりません。次回からは、誰かよく分かった人に行ってもらおうと思っているところであります。

参考までに、教育用コンピューター1台当たりの児童生徒数は、断トツで佐賀県はトップですね。LAN整備率は、1位は静岡県だったかな。でも、全国2位ですから大したものでもあります。唐津市も佐賀県の1市ですから、全国的に見ればかなり進んでいるほうだということでもあります。

12日、第14回（平成30年）市政功労者表彰候補者選考委員会に、私と部長が出席しましたが、第14回ということは、新唐津市になってからということですね。

それで、教育委員会関係がここに上がっております。学校医、学校歯科医、学校薬剤師と文化財保護審議会から候補者が上がっています。

14日、唐津地区校長会・唐松退職校長会合同研修会ということで、唐津地区と唐松、これは同じですね。それぞれの会が、うちは唐津地区といいます、うちは唐松地区といいますと名乗っているわけでありまして、唐津市と玄海町の範囲であります。

現職校長は、唐津市には小学校が33、中学校が18ありまして、玄海町にも学校がありますね。ですから、学校は52あるんですけど、七山小・中、それから高峰・竹木場、それから小川、加唐、馬渡の小・中には校長が1人しかいませんので、会員数は47名、そのうち29名が出席したということでもあります。

退職校長は、もっといっぱいいるんですけど、退職校長会に入っている人が



197名であって、そのうち41名が出席されたということであります。僕は鶴城同窓会の総会の日でしたから、ここには顔出すだけで、すぐ退席させていただきました。

講演は、甲斐田晴子さん、「花筐」、映画制作のプロセスなんかをお話しになったところであります。

17日、秋の教育長表彰審査会がありました。候補者の内訳を上げております。あくまでも審査会時点での候補者でありまして、実際はこれよりも少なくなっております。

公民館運営審議会委員の受賞者は8名のところが5名になっておりますし、社会教育団体の役員は、1名予定だったんですけど、ゼロになりました。後程、フルネームといいますか、全メンバーが出ておりますから、別紙名簿をご覧ください。

20日、唐津地区児童生徒理科研究発表会です。これは、限られた学校から出ているなという感じですね。鏡山小学校の3年生と4年生で2組2人、それから、加唐小学校は3年生と4年生が組んで1組で発表、それから、5年生の2人が発表ということで、加唐中学校は3年生が3人で発表しております。3人でということは、加唐中学校の中学生全員であります。加唐小・中、全部合わせて10人しかいないんですけど、ほとんどがここに参加したということです。

ちなみにこの児童生徒理科研究発表会、会長は馬渡小・中の江川校長なんですけど、加唐の子どもたちが大いに参与しているということですね。ほかの学校の子どもたちも頑張ってくれたらと思います。

以上、教育長報告でございます。御質問ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

#### ○教育長（稲葉継雄君）

それでは、何もなければ、次の報告に参りましょう。

決算特別委員会の報告について、御報告をお願いいたします。決算特別委員会の質疑に関する資料をご覧ください。

#### ○教育部長（金嶽栄作君）

私のほうから、決算特別委員会の報告をさせていただきます。

今回、9月に補正予算の9月議会がございまして、10月に決算特別委員会、それから、アルピノの件で臨時議会がありまして、最終的に昨日終わりました。

決算特別委員会は、3人の議員の方から質問がございました。

まず、富田幸樹議員から、浜玉中学校改築事業費（継続費3年度分）、相知中学校校舎大規模改造事業費（継続費2年度分）、湊中学校屋内運動場改築事業費（継続費2年度分）について質問がございました。

1番目、大規模改築・改修等で国の補助金が増になった理由はということですが、国費の交付額が上回った要因のひとつに建築単価の上昇があります。文科省は1平米当たりの建築単価を出して交付金を出すわけですが、建築単価が毎年見直しで上がっていて、増額になっておりまして、結果的に交付金の増加になりました。また、危険改築なり耐震補強工事の関係で特別加算が付いて、結果として国の補助金が増になったということでご答えております。

2番目、市産材の利用状況についてですが、平成28年度に工事竣工した学校の状況は、記載しているとおりでございます。

3番目、唐津市産材を床や廊下に見えるのではないかとということですが、内装木質化ということで積極的に推進しているところでございます。大体使うところが床とか腰壁ですね。教室の腰壁と天井の一部に利用しておりますが、校舎では、あと巾木、腰壁と床の一番下にあるはりのような木ですが、ここに使用したり、壁下地材などに使っています。今後、利用拡大していきたいということでご答えております。

次に、同じく富田議員ですが、唐津焼美術館推進事業費についてです。

1番目、平成28年度事業実績について伺いたいとのことですが、事業実績は、そこに書いていますように16万7,440円です。これは、有識者5人の報償費です。

2番目、今後の方向性については、坂井市長のときは、建設をするという方向でしたが、峰市長になって、いろいろなことで意見が統一できないというか、さあ建てようという状況ではございませんでしたので、唐津城天守閣がリニューアルして、その3階が古唐津の展示フロアになっています。現在、近

代図書館の美術ホールで焼き物の展示を継続してやっていますので、そういった展示をしながら、今後の方向性を見出していきたいということでお答えいたしました。

同じく富田議員ですが、新給食センター整備事業費（継続費2年度分）についてです。

予算残が、7,800万円になった内訳と理由についてお尋ねです。主な理由は、工事監理委託費が950万円の減になった。後は入札残がそれぞれ出ているということで、総計で7,800万円ほど予算が残りましてということでお答えしております。

次に、給食センター運営費（東部学校給食センター）についてです。

1番目、東部学校給食センターが竣工して1年を経過して、これまでに問題点や課題点はないですかということです。現在のところ、一応問題点、課題点はないということで答えております。

2番目、今後予想される問題点や課題点はということですが、1つ目は、臨時的任用職員の確保です。2つ目は、2年後に鏡山小学校への配送が始まり、これから増食していくことになりますが、安定稼働をどのように実施していくか、試験運行をきちんとしていく、その対策が課題であるということでお答えしております。

それから、3番目、食べ残した給食の残渣量についてです。東部学校給食センターは、1人1食当たり大体8.87グラム、1日当たりの食数は、約3,400食で約23キログラムを食べ残しているとお答えしています。

4番目、浜玉、北波多、相知、巖木の4つの給食センターの残渣率はということですが、このときは1人1食当たり6.49グラム、1日当たりおよそ2,800食で15キロということで、やはり現在のほうが少し多いですが、その辺は今後改善していきたいということでお答えしております。

5番目、給食の児童・生徒の評判はどうですかということですが、東部学校給食センター管内の中学校の生徒に対してアンケートを実施しています。今、結果を集計中でございます。

献立委員会や、保護者の方の試食会を8回ほど開催した際は、概ね肯定的な

意見で、当初よりもおいしいということで、おいしくないという意見はあまり聞かなくなりました。

6番目、異物混入についてですが、平成28年度に報告を受けたのは14件でございます。危険物の混入については、平成29年1月をもって報告はあっていませんし、それ以降もあっておりませんということで答えております。

異物混入等の喫食停止時は、乾パンを常備して対応しています。今年、大雪だったとき、パンが佐賀から届かなかったんですね。そのとき、乾パンを配ったんです。対策が後手に回ったところもありましたが、そのときから乾パンを常備している状況でございます。

次に、伊藤泰彦議員が、外国語指導助手事業についてお尋ねでした。

1番目、外国語指導助手の事業目的ですが、いわゆるALTでございますが、目的については、小・中学校の英語教育の充実を図る、地域住民の方々と交流をして、諸外国との相互理解、市民の国際化の促進ということで答えております。

2番目、事業内容につきましては、外国語指導助手いわゆるALTを12名雇用しています。JETから11名、あと七山の特別職非常勤の方が1名いらっしゃいまして、全部で12名です。小学校の外国語活動、小学校5、6年生、それから英語教育、中学校に指導助手として参加をしていただいております。

3番目、決算額の内訳については、ほとんどが人件費でございます。4、894万円ですね。あとは旅費、それから宿舍の補助ということで、合計5、821万4、990円となっております。

4番目、事業効果はということですが、児童・生徒が生徒の英語を聞くということで、語学力のアップと異文化への理解、グローバルな視点を持って世界とかわる機会を持つと。中学校の英語の暗唱大会はALTの方が審査委員ということで、レベルの高い大会になっているということでございます。

5番目、他市の状況との比較ですが、佐賀市が13名を雇用し、2週間に1回程程度の派遣を行っているとのこと。唐津市では、12名で、全ての小中学校に1週間に1回程派遣しています。他市を比べても適切な派遣を行って

いるということで答えております。

それから、次のページ、スクールカウンセラー事業費についてです。

1 番目、これはよく質問に出ますが、スクールカウンセラーの事業目的はということですが、児童の不登校や問題行動のカウンセリング、教職員、保護者への助言指導ということでお答えをしております。

2 番目、相談内容と事業効果につきましては、過去3年間の相談内容については、不登校、いじめ問題、暴力行為等について相談がございまして、相談数は年々増加している状況でございます。効果については、課題を抱える児童・生徒への対応に関して、教職員、保護者に適切な助言を与えて、児童・生徒の理解が深まるとともに、教職員の精神的なゆとりが生まれるなどの効果が出ているということでお答えしています。

3 番目、今後の方向性については、さらに多くのカウンセリングの時間を確保して、カウンセラーの勤務状況を考慮した上で適切な配置と勤務時間を考えていきたいということでお答えしております。

次に、幼・保・小連携推進事業についてです。

1 番目、この事業目的はということですが、1つ目は、指導上の問題点を小学校へ円滑に接続するということ。2つ目には、私立幼稚園の教職員の研修の補助、3つ目は、未就学児、また就園児の保護者の子育てを支援する事業を行うということを目的としております。

2 番目、事業の概要については、書いておりますように、相互の連携推進と相互理解ということで、認定こども園ではない幼稚園に研修の出張の補助、それから、私立幼稚園の教職員の研修費補助、それから、田植えや餅つき等のイベントに対する補助を行っているということでございます。

3 番目、事業効果につきましては、ノーテレビやノーゲームデーを幼・保・小連携して行うということで、指導体制の確立を図っているということで答えています。

4 番目、この事業の課題はということですが、やはりそれぞれ個性を持って教育をされておりますので、なかなか強制力がないということで、幼・保・小の一貫した指導が難しい面もございまして、この辺の温度差を縮めていくこと

が課題だということで答えております。

5番目、予算減額の理由はということでございますが、これまで、全ての私立幼稚園に補助を行ってきたが、私立幼稚園はほとんど認定こども園に変わり、管轄が保健福祉部のほうになりましたので、教育委員会としては、予算減になっているところでございます。

6番目、今後の方向性としては、幼・保・小連携の内容を更に充実させて取り組んでいきたいとお答えしているところでございます。

次は、いきいき学ぶからつつ子育成事業についてお尋ねでございます。

1番目、事業の目的と概要ですが、豊かな心で自ら学び成長意欲に満ちた児童・生徒の健全育成ということで、例えば、豊かな心づくりでは、切木ぼたん団子を地域の人とともについたり、アワビの養殖、フグの養殖、また、高校生と語る会などをしております。

一方、学力向上については、学力向上アクションプランに基づいて授業改善に取り組んでいるということで答えております。

#### ○教育長（稲葉継雄君）

ここは部長答弁ではなく、教育長答弁ですね。

#### ○教育部長（金嶽栄作君）

そうですね。すみません、教育長答弁です。

それから、2番目、この事業の効果についてですが、生徒指導の充実、地域への愛着心の向上につながると共に、地域の方々が子どもたちとつながりを持つきっかけとなっているということで、特に学力向上については、前回の学力テストでもだんだん結果が出てきておりまして、県平均に徐々に近づいているところということをお話ししております。

3番目、その他の効果ということで、ここは教育長がお答えになりましたが、加唐島の子どもが韓国に行った際、非常にはきはきと答えたり、元気よく演奏したりしてとても良かったと。また、この前、相知小5年の子どもが日中韓交流の絵本づくりに行って、その報告のプレゼンテーションも非常に良かった。これこそが、いきいき学ぶからつつ子育成事業の効果ではないかと答弁されました。

次に、中川幸次議員が特別支援教育費についてお尋ねです。

1 番目、生活支援員の配置状況についてですが、何度も出ておりますのでお分かりだと思いますが、平成26年度49名、27年度55名、28年度が55名、29年は61名と答えております。

生活支援員の業務内容については、そこに書いてありますように、車椅子の子のサポート、トイレのサポート、着替えのサポート、コミュニケーションが苦手な子には一緒に遊ぶなど、生活の支援をしています。

それから、研修はということですが、佐賀県が主催する特別支援教育スキルアップ研修会に参加をしていただいて、指導力を上げているということでお答えしております。

3 番目、生活支援員の配置の効果でございますが、やはり困り感を持って過ごしている幼児、児童・生徒にきめ細かな指導ができること。学習や学校活動に集中して臨むことができる。また、教師のほうも、全体を見ながら、障害を持っていない子を含めて指導ができるといった効果があるということでお答えしております。

以上でございます。

**○教育長（稲葉継雄君）**

3 番目の答弁も僕です。

**○教育部長（金嶽栄作君）**

すみません。

**○教育長（稲葉継雄君）**

ただいまの部長報告に関しまして、御質問、御意見はありませんか。よろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

**○教育長（稲葉継雄君）**

冒頭にも言いましたように、今回はこの議会が終わってからも、なおかつ断続的に続いて、やっと昨日、終わったということです。

次の報告に参ります。

平成29年（秋）教育長表彰につきまして、教育総務課からお願いします。

## ○教育総務課長（栗原達也君）

教育総務課です。この件につきましては、先程、教育長が報告されましたけれども、17日に審査会を開いております。

教育長日誌に書かれている人数と実際の表彰の人数というのは、教育長が言われたように、他の表彰を受けてある方は対象とならないということで、若干減っているところでございます。

社会教育（一般）の部ということで、8名の方を表彰します。

文化（一般）の部につきましては1名です。

児童・生徒の部でございますけれども、スポーツ（児童・生徒）で中学生の部につきましては、23名と3団体を表彰いたします。小学生の部につきましては、10名、2団体の表彰となっております。

児童・生徒につきましては、各学校、校長手渡しを依頼しているところでございます。そして、一般の方につきましては、11月1日に表彰式を開催する予定となっております。

なお、補足の説明でございますけれども、3ページの団体、11番と12番ですけれども、ソルニーニョFC、それと唐津JVC（ジュニアバレーボールクラブ）ということでございますけれども、これは学校といった区分ではなく、クラブチームのようなものでございます。

まず、11番のソルニーニョFCというのは、フットボールクラブのチームで、生徒の内容といたしましては、鏡山小が9名、成和小が1名、浜崎小が2名、久里小が1名、計13名ということになっております。

12番の唐津ジュニアバレーボールクラブです。これにつきましては、構成は大良小が3名、浜崎小が2名、外町小1名、成和小1名、鏡山小1名、名護屋小1名、玉島小1名と玄海みらい学園が2名ということで、計12名の構成になっているところでございます。

詳細につきましては、この表の中に氏名、学校名、一般の方については住所、そして、功績等を一覧表のほうに記載しておりますので、後でゆっくり見ていただきたいと思います。とっております。

以上でございます。



**○教育長（稲葉継雄君）**

ありがとうございました。

今ありましたように、一般の方に対しましては、11月1日の11時からここで表彰式を行います。よろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

**○教育長（稲葉継雄君）**

次に参ります。学校教育に関する諸報告について、学校教育課からお願いします。

**○学校教育課長（佐々木講吉君）**

平成29年度全国学力・学習状況調査、小学校6年と中学校3年生の結果が出ておりますので、お知らせいたします。

資料をご覧ください。この印刷物は保護者と議員さん向けに作成をしたところです。

全国学力・学習状況調査につきましては、8月頃、独自の集計で概要をお知らせしましたが、今回は、全国の文部科学省が発表した最終的な数値と御理解ください。

小学6年生の結果から説明をさせていただきますが、左上のほうに国語A、B、算数A、B、全国、佐賀県、唐津市の正答率を比較しているところです。

数字を見ていただきますと、全国や県に随分近づいてきています。例えば、国語A、それと算数A、Bあたりは近づいてきております。まだ届きはしておりませんが、少しずつ目標に近づいてきているというところは間違いのないようです。その下段のほうを見ていただきますと、真ん中の右側に棒グラフがありますが、これは家庭でのテレビ・勉強の時間の調査についての質問です。唐津市の場合は、県や全国に比べて、家庭でのテレビの時間がやっぱり多いんですね。それと、土日の勉強時間は逆に少ないという結果が出ています。

従いまして、来年度以降、各学校に学力向上に向けての方策を示す時期がやってきますが、その中では家庭教育と申しますか、例えば帰宅してから宿題をきちんとするとか、予習復習であったりとか、土日も本を読むなど、啓発しなければいけないと思っています。全国に比べるとそういうところが劣ってい

るという根拠となるデータにしたいと思っているところです。

また、上から2つ目の表の主な質問事項で、例えば、「学校に行くのは楽しいと思いますか」と、「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか」というところは全国や県に比べて、いけないとか、学校に行くのは楽しいというのが平均より超えています。

学校に行くのが楽しいとか、いじめがだめという意識は出てきていて、本課に上がってくる報告書を見ても、全市的には随分減ってきました。今後はこれに家庭教育等も含めて、学校に行くのは楽しいとか、勉強が楽しいとなるように意欲を持たせることが学力向上の第一歩かなというふうに思っているところです。

また、これも気になりますけど、スマートフォンの普及ということで、唐津地区は多いという結果も出ていますので、その辺もあわせて指導していく方向に持っていきたいなと思っているところです。

裏面は中学校3年生の分析ですが、中学校につきましては、やっぱり国語、数学、特に数学については、依然として成果はまだ上がっておりません。これは、中学校は教科担任ですので、国語の教師、数学の教師がどうなのかなという見方もできますが、全国学調は国語と数学しかないのも、その教科担当任せなところも中学校にはどうしてもありますね。そうではなくて、ほかの教科も合わせて学校全体で、それこそ学校は楽しいとか、学習は楽しいとか、もう少し全国学力調査にしても体力テストにしてもみんなで頑張ろうとか、佐賀県には負けるもんかとか、全国に負けるもんかという意欲は持たせないとなかなか伸びないのかなというふうに思っていますので、校長会等でそういう組織のあり方、意識をどう高めていくかというところも、私個人的には課題にしているところです。

次に、学習状況についてです。携帯、スマホ、勉強時間については、小学校と同じように、やっぱり唐津市では携帯、スマホの所持率が高いとか、土日の読書だとか学習が少ないという結果が出ているところです。

学力向上アクションプランに基づいて、これは9年計画の5年目ということで進めていますので、これをさらに効果があるようにするにはどうするかとい

うことで検討しないといけません。予算もきちんとつけてもらっておりますのでね。

ただ、学校訪問をして、お分かりのように、いろんな体験行事は豊富にしているような状況がありますね。授業については、やっぱり温度差があるというふうにお感じにならないでしょうか。

例えば、若い教諭はのみ込みが早いというか、時代の変化についていきやすいので、授業改革も随分進んでいます。40代後半、50代の教師がなかなか対応できないというところで、旧態依然のような学習のやり方で、そこで勉強はおもしろくないという現状もありますので、その辺の温度差を埋めながら、どう子どもたちにやる気を持たせて、自ら勉強したいという気持ちに持っていくかということは、依然として課題としては持っているところでございます。

以上、簡単ではございますが報告を終わります。個別の報告につきましては、秘密会議のほうでお願いをしたいと思っております。

#### ○教育長（稲葉継雄君）

只今の学校教育課からの報告に関しまして御質問はございませんか。よろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

#### ○教育長（稲葉継雄君）

それでは、秘密会議で報告があるそうでございますから、後程お願いいたします。

次に、近代図書館から4件続けて報告をお願いします。

#### ○近代図書館長（橋爪伸子君）

近代図書館です。今年が開館25周年になります。

まず、シャンデリアコンサートについてです。毎年、行っている行事ではありますが、この時期に合わせ、二胡とピアノの夕べを行います。11月18日土曜日、6時半からです。西村美和さんは唐津出身の方です。

次に、文芸講演会で、講師は古川康さんをお願いいたしました。「文化の未来 図書館の将来」という、11月12日日曜日の14時からです。図書館のことや芸術のこととか、いろんな話をしていただけたらと思っております。

続きまして、子ども一日図書館員体験ということで、図書館司書は何をしているんだろうということで、図書館の人の仕事を体験してみませんかというイベントです。11月12日、文芸講演会と同じ時間なんですけど、小学生を対象にしています。4人参加していただくことにしています。

続きまして、ブックスタート講演会です。パパのための絵本読み聞かせ講座ですが、ママも参加できます。5年ぐらい前にファザーリング・ジャパンという父親の子育てグループの川添祐樹さんに講師をしてもらっています。この方は北波多出身です。2回目の講演会になります。読み聞かせや、子育ての仕方など、父親目線の楽しいお話と読み聞かせや、歌と踊りも加わる楽しい絵本の読み聞かせをしてもらう予定です。

以上です。

**○教育長（稲葉継雄君）**

これは、古川康さんの講演会と一日図書館員体験は重なっているんじゃないですか。

**○近代図書館長（橋爪伸子君）**

はい。重なっています。講演会は大人対象で、図書館員体験は子ども対象ということで、それぞれ職員がつく予定です。一日図書館員体験は、職員が2、3人付いて館内を案内し、説明する予定でございます。

**○教育長（稲葉継雄君）**

25周年の記念式はあるんですか。

**○近代図書館長（橋爪伸子君）**

記念式典はございません。

**○教育長（稲葉継雄君）**

只今の近代図書館関係のお知らせに関しましてはよろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

**○教育長（稲葉継雄君）**

皆さんぜひ参加してみてください。

次は、共催及び後援について教育総務課からお願いします。

**○教育総務課長（栗原達也君）**

教育総務課です。議案集の5ページをお願いいたします。

共催及び後援については、共催3件、後援12件、合計の15件となっております。

詳細につきましては、一覧をご覧いただきたいと思っております。

以上です。

#### ○教育長（稲葉継雄君）

共催及び後援につきまして、御質問はございませんか。

100番の大相撲九州場所相撲部屋誘致とあります。相撲部屋というのは琴歐洲さんの鳴戸部屋のことです。11月1日の日に励ます会をするそうであります。

それでは、予定されていた報告は以上ですが、実は切木小学校の統合に关しまして集会があったようですので、肥前市民センターの増田課長からその会合の状況を報告していただきましょうかね。

#### ○肥前市民センター総務教育課長（増田 勉君）

肥前市民センター総務教育課の増田でございます。切木小学校の統廃合について、地域の区長さんに御意見をお聞きしました。

7月に保護者を対象としたアンケートを実施いたしました。結果は、反対、賛成が五分五分ぐらい、若干反対が多いという状況でした。今回はそういった状況を踏まえまして、切木小学校区域の各集落の区長さんにお集まりいただき、通学区域の再編、切木小学校の統廃合について御意見をお聞かせいただきました。

まず、こちらから切木小学校の現状を報告しました。複式学級が既に1クラス発生していて、今後の児童数の推移を予測しても、やはり1クラスから2クラスの複式学級が出来る見込みであると。

そういった中で、教育委員会は、1学年1学級の学校、それから、複式学級のある学校については、統廃合をしたいということで検討を行っている。

さらに、切木小学校を含む高峰中学校のエリア、ここについては、小中一貫校で進めたいというふうな考え方を持っていますよということを最初に説明いたしまして、御意見をお伺いしましたが、やはり余りよくないという意見で、

統廃合についてはもう少し待ってもらいたいとのことでした。

切木中学校が統合されて、地域の火が消えたようだ。非常に寂しい状態になっている。ここで小学校まで統廃合してしまったら、地域振興上、非常に問題が出てくると、そういったことでした。まだ待ってくださいと。

中には、強い意見の方もいらっしゃるしまして、もともと切木のほうが数が多いし、小中一貫の話も私たちは知らない。それは教育委員会が決めたことだから、急ぐんだったら一番人数が多い切木に集めてくれと、そういう意見を聞かせていただきました。

以上でございます。

**○教育長（稲葉継雄君）**

ありがとうございました。

一昨年、私たちが行って聞いた話とほとんど変わらないということですね。住民感情としては、やっぱりそうだろうと思いますよ。私だって母校が消えるのは寂しいし、地域社会にとって学校は大きいですから、統廃合は強引に進めることはできないと思いますけどね。

**○肥前市民センター総務教育課長（増田 勉君）**

それに関連しまして、切木小学校はPTAではなくて育友会の組織になっておりまして、学校の運営、維持管理についても地域の方がかなり協力されていますので、そういった話が特に出てくるのかなと思います。

それから中学校の統合のときに、高峰中学校の場所に行くというのが、地域の方は切木が多いから切木に来るだろうという考えだったのかなというふうに感じました。

以上です。

**○教育長（稲葉継雄君）**

中学校もいろいろな案があって、検討した結果、やっぱり竹木場がいいだろうということになったわけですね。まあしかし、複式学級が当分というか、これからずっと学年進行で続くだろうと思いますし、どうしてもそれはどこかで打破しなくてはいけないと思いますね。大良に至っては、複式が2つあるという状況ですからね。

僕が憎まれ者になって英断を下す時期が来るかもしれませんが、実は多久市が今、学校が3つしかないんですね。小・中、小・中、ぐっぐっと3つにしてしまって、これは中川前教育長が剛腕を振るってやってですね。苦労話を聞いたら、聞くも涙、本当に語るも涙、大変な苦労があつてですね。今のところ、僕はそこまでやる気はないです。もう少し時間をかけて進めましょうね。ありがとうございました。

次に、その他、教育委員会行事予定をお願いします。

**○教育総務課長（栗原達也君）**

教育総務課です。6ページをお願いいたします。教育委員会行事については、記載のとおりです。

以上です。

**○教育長（稲葉継雄君）**

ありがとうございました。

これをご覧になって、お聞きになりたいこととかはございませんか。

1 1月6日、午前中に校長会があり、午後から教職員の研究論文審査会をします。これは坂本委員さんにも審査委員として加わっていただきます。

1 1月14日佐賀県連絡協議会と書いてありますが、事実上、平成30年度教職員人事が正式にスタートすると思ってください。

それから、10月29日に旧制唐津中学のことが書いてありますが、これは教育委員会とは実は関係なくて、僕が行くからここに書いてあるようなもんなんですけど、旧制唐中46期の方が戦時動員で佐世保に行っているときに、戦災に遭って亡くなったんですね、3人。その慰霊祭を同級生がされてきたんですけど、いよいよ年をとられまして、後輩たちよ、頼むということになったもんですから、会長と当番期の代表でやるということになっております。

唐津東高校に関しましては、栗原課長、こっちのほうも説明をお願いします。

**○教育総務課長（栗原達也君）**

近代教育発祥の地の碑共同建立について御説明申し上げます。

これにつきましては、唐津の鶴城同窓会からの依頼です。

現在の早稲田佐賀学園に唐津東高校があったということで、そこに石碑と碑

文ですね。唐津東高の流れなど詳しい説明を書いたプレートのようなものを、外から分かるほうになると思うんですけれども、石碑と碑文を設置したいということで、鶴城同窓会と唐津早稲田交流推進協議会、それと学校法人大隈記念早稲田佐賀学園という3つの団体で協議を進めていらっしゃいました。

そこで、耐恒寮のことにも触れたいということで、耐恒寮は第2代の早稲田の学長さんが出られているということで、そういう話も聞いております。2代学長の天野為之さんが、耐恒寮から出られて早稲田の学長になっておられるということで、鶴城同窓会と早稲田関係がマッチングをされて、企画をされているということで、ぜひ耐恒寮、近代教育発祥の地ということで、石碑と碑文の中に教育委員会の名前もそこに入れさせていただきたいということでお願いが来ております。

それで、教育委員会としては、10月26日付けで回答を出したいと思っております。内容といたしましては、今回、石碑等の建立経費及び今後発生する維持管理費用、これについては、唐津市教育委員会としては負担をしないということを経済条件に近代教育発祥の地の碑の共同建立者の一員になることは承諾しますということで回答を出したいと思っております。

以上です。

#### ○教育長（稲葉継雄君）

御説明ありがとうございました。

ちょっと補足しますと、既に碑にどういう文章を刻むかという原文はあって、僕が朱を入れさせてもらいました。唐津の近代教育はあの地から発展していったんだという意味で、現在、あそこに東高等学校はありませんけど、唐津市の土地で早稲田が利用している。ですから、唐津市教育委員会もそこに加わって、碑を建てようというわけです。費用については、教育委員会は出さなくてもいいです。ということでありまして、皆様方の御了承を得たいということであります。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

#### ○教育長（稲葉継雄君）

ありがとうございます。



単に東高等学校の跡地だけじゃなくて、いろんな学校があそこから発祥しているんですね。だから、唐津の近代教育はここからですよという意味の碑を建てたいということでもあります。

明治維新150周年に先手を打って、県のいろんな行事が始まる前に建てようという形に今のところはなっております。ありがとうございました。

それでは、その他、次回の定例教育委員会の日程でございますけど、11月24日でよろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

**○教育長（稲葉継雄君）**

それでは、11月定例委員会は、24日金曜日、午後2時からここで行いたいと思います。

全体会はここで閉じさせていただきます。ありがとうございました。